
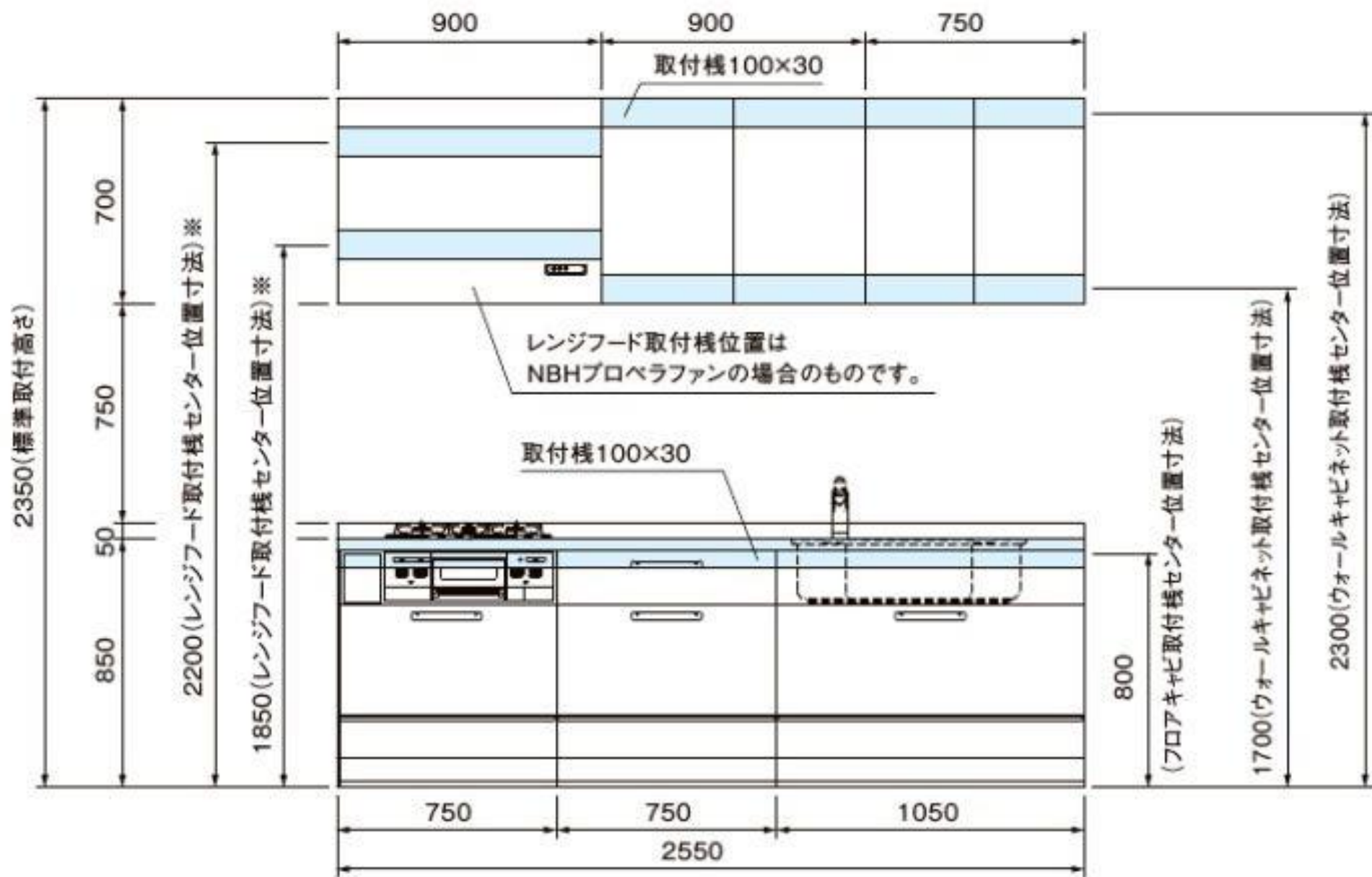


【キッチン】

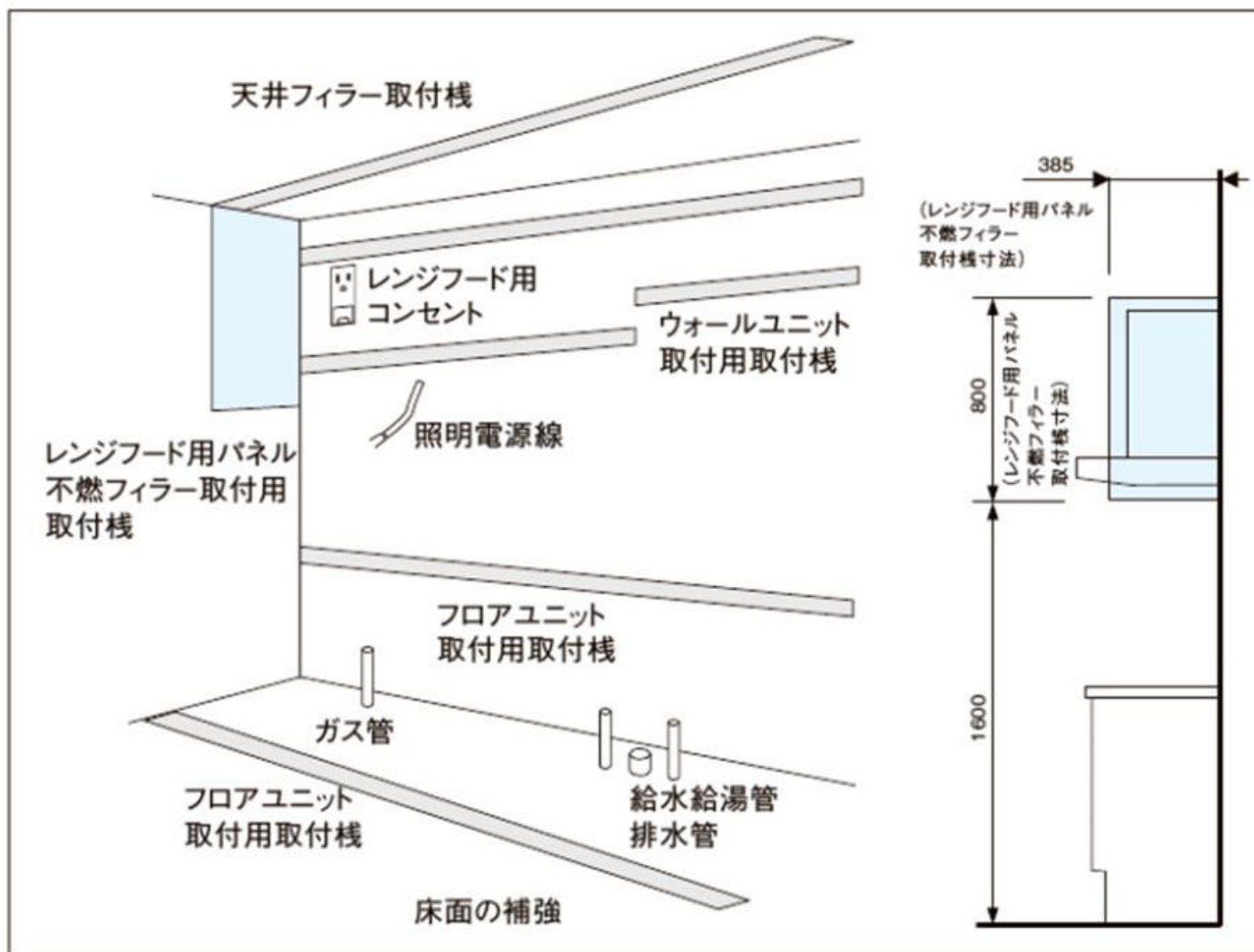
吊戸棚

禁止事例	栈木下地なしへの吊戸棚の設置
発生する恐れのある事故	落下・人身事故 
掲載場所	キッチン 商品ガイド(次項参照)

■ 取付機の取付け ● I型間口255cmの場合



○レンジフードによって寸法が異なります。



キャビネットを取付・設置する壁面に、取付棧を取付けるか、埋込んでください。
 石膏ボードで仕上げる壁面は、ボードの内側に取付棧を取付けてください。
 ○レンジフードによって不要な場合がございます。

- 本体重量と収納重量の荷重に対して、取付棧(下地)が落ちないだけの強度をもたせてください。最大300kg/1キャビネット当たりの強度がもつように柱・間柱に確実に固定してください。
- キャビネットを取付・設置する壁面には、取付棧(下地)を取付けるか、埋め込みます。
- 取付棧(下地)は広葉樹、マツ・ツガ等の強度のある針葉樹いずれかの無垢材を使用します。また、厚さ30mm以上、幅100mm以上が必要です。
- 合板を取付棧(下地)として使用する場合は、ラワン合板などの硬い材質の普通合板(表面が平滑でフシがない、虫くいや、くされのないもの)を使用します。また、必ず厚さ12mm以上のものをご使用ください。
- 石膏ボードで仕上げる壁面は、石膏ボードの内側に取付棧(下地)を取付けます。
- ウォールキャビネットの取付けは、必ず商品同梱の専用ねじ大皿タッピンねじ(5.3×63)を使用し、取付棧(下地)に25mm以上かかるようにしてください。
- 合板下地はねじ箇所だけでなく、全面下地(吊戸棚全体)を原則とします。
- 鋼板下地の場合
 - ・鋼板の変形を防ぐため必ず石膏ボード等で覆ってください。
 - ・下地からのねじ貫通しろを25mm以上とってください。
- 鋼板下地で石膏ボード2枚貼りの場合、その内側に下地を敷設する事は、上記のねじ貫通しろが確保できないため設置できません。
- 鋼板の厚みは必ず0.8mm以上のものをご使用ください。
- 軽量鉄骨躯体(LGS)の設置間隔は300mm以下を守ってください。



- 石膏ボードで仕上げる壁面は、石膏ボードの内側に取付棧(下地)を取付けます。
- ウォールキャビネットの取付けは、必ず商品同梱の専用ねじ大皿タッピンねじ(5.3×63)を使用し、取付棧(下地)に25mm以上かかるようにしてください。
- 合板下地はねじ箇所だけでなく、全面下地(吊戸棚全体)を原則とします。
- 鋼板下地の場合
 - ・鋼板の変形を防ぐため必ず石膏ボード等で覆ってください。
 - ・下地からのねじ貫通しろを25mm以上とってください。
- 鋼板下地で石膏ボード2枚貼りの場合、その内側に下地を敷設する事は、上記のねじ貫通しろが確保できないため設置できません。
- 鋼板の厚みは必ず0.8mm以上のものをご使用ください。
- 軽量鉄骨躯体(LGS)の設置間隔は300mm以下を守ってください。